

平成30年度教科用図書第10採択地区

第2回教育委員会協議会議事録

1 期 日

平成30年7月20日（金）

2 場 所

ひろらん広域センタービル（4階会議室）

3 委員の出席

豊浦町教育委員会教育長	野 橋 知 哉
洞爺湖町教育委員会教育長	遠 藤 秀 男
壮瞥町教育委員会教育長	田 鍋 敏 也
伊達市教育委員会教育長	影 山 吉 則
登別市教育委員会教育長	武 田 博
白老町教育委員会教育長	安 藤 尚 志
安平町教育委員会教育長	種 田 直 章
厚真町教育委員会教育長	遠 藤 秀 明
むかわ町教育委員会教育長	長谷川 孝 雄

4 事務局の出席

白老町教育委員会 学校教育課長	鈴 木 徳 子
白老町教育委員会 指導主幹	前 田 道 弘
白老町教育委員会 学校教育アドバイザー	森 誠 一

5 開 会 13:00

6 議 事

- (1) 議案第1号 平成31年度から使用する中学校用教科用図書「特別の教科
道徳」1者選定に係る調査委員会報告・質疑及び協議
- (2) 議案第2号 平成30年度教科書展示会における意見等について(報告)
- (3) 議案第3号 その他

7 事務連絡

- (1) 平成31年度使用小学校用教科用図書及び平成31年度使用中学校「特別の
教科 道徳」教科用図書の採択について
- (2) 教科用図書第10採択地区教育委員会協議会議事録等の公表について

平成30年度第2回教科用図書第10採択地区教育委員会協議会議事録

平成30年7月20日午後1時から

発言者	内 容
<p>事務局長 (安藤教育長)</p>	<p>お忙しい中、お集まりをいただき、ありがとうございます。 ただ今から、平成30年度第2回教科用図書第10採択地区教育委員会協議会を開催いたします。開会に当たり、会長から御挨拶をいただきます。</p>
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>本日は、調査委員会における調査研究の結果の報告を受け、平成31年度から中学校で使用する教科用図書「特別の教科 道徳」について選定することとなっておりますので、よろしくお願ひします。それでは、早速ですが、進行等について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (鈴木課長)</p>	<p>1者選定までの進め方について御説明申し上げます。 今回、選定しなければならない中学校用「特別の教科 道徳」教科用図書は8者でございます。 これから調査委員会 立花委員長から調査研究の結果についての報告を受け、質疑及び協議を行い、1者を選定するという流れで進めてまいります。 選定までの時間については、調査委員会委員長からの説明を40分間、その後の質疑に20分間程度を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。それでは、この後、会長の進行でお願いいたします。</p>
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>調査委員会 立花委員長さんが入室されておりますので、早速ですが、調査委員長さんより「特別の教科 道徳」の教科書見本本の調査研究の結果について報告をお願いします。</p>
<p>委員長 (立花校長)</p>	<p>「特別の教科 道徳」調査委員会委員長の伊達市立伊達中学校長の立花和実です。どうぞよろしくお願ひします。 それでは、「特別の教科 道徳」の教科書見本本の調査研究の報告書に基づき、説明させていただきます。各者の詳細な特色につきましては、報告書を御覧いただきたいと思います。 まず、「特別の教科 道徳」（これ以降は、道徳科と略させて</p>

発言者	内 容
委員長 (立花校長)	<p>いただきます。)における「取扱内容」については、「学習指導要領の総則」及び「道徳科の目標、内容等」に基づく調査項目とし、第3章道徳科第3の3の「教材についての留意事項(1)」では、「生徒の発達段階や特性、地域の実情等を考慮し多様な教材の活用に努めること。」となっており、現代的な課題などを題材とし、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材の開発や活用が求められていることから、特に、「命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「情報化」の4項目について、8者それぞれの取り扱いを学年ごとにまとめました。</p> <p>1の「生命の尊厳」については、どの者も、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっています。</p> <p>例えば、東書では、第3学年で、生まれてきた命とはどのようなものだと思うかや命を大切に生き抜いていくにはどのようなことが大切かを考える活動を取り上げています。</p> <p>特に、いじめの問題については、なぜいじめをなくすことは難しいのかを考える活動を取り上げています。</p> <p>また、日文では、第2学年で、生命を支え合うとはどのようなことかや生命の重さや尊さとはどのようなことかを考える活動を取り上げています。</p> <p>特に、いじめの問題については、差別や偏見が生まれる原因はどのようなところにあるかを考える活動を取り上げています。</p> <p>2の「自然」については、各者ともに、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっています。</p> <p>例えば、学研では、第1学年で、自然を守りながら人間にとって便利な生活を続けていくことはどのようにすれば可能かを考える活動を取り上げています。</p> <p>また、学図では、第3学年で、今後、自然に対してどのような関わり方をしていくかを考える活動を取り上げています。</p> <p>3の「伝統と文化」については、どの者も、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっています。</p> <p>例えば、教出では、第1学年で、郷土の文化を守っていくこ</p>

発言者	内 容
委員長 (立花校長)	<p>とはなぜ大切なのかを考える活動を取り上げています。</p> <p>また、廣あかつきでは、第2学年で、長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化にはそこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動を取り上げています。</p> <p>4の「情報化への対応」については、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっていきます。</p> <p>例えば、光村では、第3学年でインターネットを扱い、様々な人から発信される情報を見極め、自分の考えや判断に責任をもつために必要なことは何かを話し合う活動を取り上げています。</p> <p>また、日科では、第1学年でスマートフォンを扱い、インターネット上ではどのようなコミュニケーションが望ましいかを話し合う活動を取り上げています。</p> <p>詳しくは、報告書の様式2において、各者の特徴的な取り扱いを学年ごとにまとめてありますので、御覧ください。</p> <p>次に、「内容の構成、排列」についてですが、道徳の教科化にともない、登場人物の心情を読み取ることが中心の学習から討論や問題解決的、体験的な学習活動を取り入れた、「考え、議論する道徳」へと変わることになり、各者ともに「考えを深め、判断し、表現する力を育む言語活動」や「問題解決的な学習」及び「体験的な学習」を取り入れています。</p> <p>具体的な内容については、様式2に示しているとおり、東書では、各学年に「話し合いの手引き」や「つぶやきコーナー」を配置して多様な感じ方や考え方に接することができるようにしたり、教材冒頭の問題提起から解決を図る「考えてみよう」を配置して様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考えることができるようにしたり、役割演技による学習を示した「アクション」を配置して体験的行為や活動を通じて考えを深めたりできるよう工夫されています。</p> <p>学図では、各学年に多様な見方や考え方を出し合ったり、話し合ったりする「学びに向かうために」を配置して多様な感じ方や考え方に接することができるようにしたり、道徳的問題に</p>

発言者	内 容
委員長 (立花校長)	<p>ついて考えを出し合う教材を配置して様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考えることができるようにしています。</p> <p>また、役割演技による学習を用いた教材を配置して体験的行為や活動を通じて考えを深めたりできるように工夫されています。</p> <p>教出では、各学年に自分の考えを基に話し合う「学びの道しるべ」を配置して多様な感じ方や考え方に接することができるようにしたり、異なる立場からの考えを取り上げた教材を配置して様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考えることができるようにしたり、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置して体験的行為や活動を通じて考えを深めたりできるように工夫されています。</p> <p>光村では、各学年に考え話し合うことを中心に据えた「てびき『学びのテーマ』」を配置して多様な感じ方や考え方に接することができるようにしたり、問題を解決するための発問「考える観点」を配置して様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考えることができるようにしたり、道德的行為に関する体験的な学習を示した「人と人との関係づくり」を配置して体験的行為や活動を通じて考えを深めたりできるように工夫されています。</p> <p>日文では、各学年の「別冊 道德ノート」に自分や友達の考えを記入する欄を配置して多様な感じ方や考え方に接することができるようにしたり、問題をつかむ活動や考える活動を促す「学習の進め方」を配置して様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考えることができるようにしたり、道德的行為に関する体験的な学習を示した「学習の進め方」を配置して体験的行為や活動を通じて考えを深めたりできるように工夫されています。</p> <p>学研では、各学年に生徒が考えたことを記述する「鉛筆マーク」を配置して多様な感じ方や考え方に接することができるようにしたり、問題解決的な学習の筋道を紹介する「深めよう」を配置して様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考えることができるようにしたり、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置して体験的行為や活動を通じて考えを深めたりできるように工夫されています。</p>

発言者	内 容
委員長 (立花校長)	<p> 廣あかつきでは、各学年の「別冊 中学生の道徳ノート」に感じたことや考えたことを記入する欄を配置して多様な感じ方や考え方に接することができるようにしたり、問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置して様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考えることができるようにしたり、役割演技による学習を用いた教材を配置して体験的行為や活動を通じて考えを深めることができるよう工夫されています。 </p> <p> 日科では、各学年に「考え、話し合ってみよう そして深めよう」を配置して多様な感じ方や考え方に接することができるようにしたり、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考えることができるようにしたり、道徳的行為に関する体験的な学習を用いた教材を配置して体験的行為や活動を通じて考えを深めたりできるように工夫されています。 </p> <p> 「内容の分量」については、総ページ数は、様式2で示しているとおおり、東書は、1学年181ページ、2学年189ページ、3学年189ページ。 </p> <p> 学図は、1学年224ページ、2学年228ページ、3学年224ページ。 </p> <p> 教出は、1学年194ページ、2学年、3学年ともに178ページとなっています。 </p> <p> 光村は、1学年、2学年ともに224ページ、3学年232ページとなっています。 </p> <p> 日文は、別冊を含め、1学年、2学年、3学年ともに231ページとなっています。 </p> <p> 学研は、1学年180ページ、2学年、3学年ともに184ページとなっています。 </p> <p> 廣あかつきは、別冊を含め、1学年238ページ、2学年222ページ、3学年218ページとなっています。 </p> <p> 日科は、1学年、2学年、3学年ともに192ページとなっています。 </p> <p> 最後に、「使用上の配慮」についてですが、各者ともに、「自らを振り返るための工夫」が図られ、東書は、各学年に、学期ごとの学習の記録を残すことができる「自分の学びをふり返ろう」を配置して自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や </p>

発言者	内 容
委員長 (立花校長)	<p>目標をもったりできるようになっています。</p> <p>学図は、各学年に、「一年間の振り返り」や教材ごとの「学びの記録」を配置して自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりできるようになっています。</p> <p>教出は、各学年に、「道徳の学びを記録しよう」や課題や目標を記入する「どんな〇年生になりたいか」、「そして、未来へ……」を配置して自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりできるようになっています。</p> <p>光村は、各学年に、教材ごとに記入する「私の気づき」やシーズンごとの記録を残す「学びの記録」を配置して自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりできるようになっています。</p> <p>日文は、各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」を配置して自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりできるようになっています。</p> <p>学研は、各学年に、成長を振り返り、課題や目標を見付ける「マイプロフィール」や「心の四季」を配置して自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりできるようになっています。</p> <p>廣あかつきは、各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置して自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりできるようになっています。</p> <p>日科は、各学年に、「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置して自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりできるようになっています。</p> <p>また、「家庭や地域との連携を深めるための工夫」について、東書は、各学年に、自分が住む地域について考えるきっかけとなる「郷土のことを考える」を配置して家庭や地域社会と共通理解を深めることができるようになっています。</p> <p>学図は、各学年に、家庭教育との連携を図ることを目的とした「保護者の方へ」や「さあ、楽しい夏休み！」を配置して家庭や地域社会と共通理解を深めることができるようになっています。</p>

発言者	内 容
委員長 (立花校長)	<p> 教出は、各学年に、道徳の学習と家庭をつなぐ「家の人から」を配置して家庭や地域社会と共通理解を深めることができるようになっています。 光村は、各学年に、生徒が家庭での話し合いにつなげられるコラムを配置して家庭や地域社会と共通理解を深めることができるようになっています。 日文は、各学年の別冊に、家庭や地域社会との連携による指導の配慮として「保護者記入欄」を配置して家庭や地域社会と共通理解を深めることができるようになっています。 学研は、各学年に、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置して家庭や地域社会と共通理解を深めることができるようになっています。 廣あかつきは、各学年に、家庭や地域の人との関わりを促す教材や、別冊に家族との交流を促す記述欄を配置して家庭や地域社会と共通理解を深めることができるようになっています。 日科は、各学年に、学校と家庭、地域社会をつなぐ「心の成長を目指して」を配置して家庭や地域社会と共通理解を深めることができるようになっています。 「使用上の便宜」として、どの者も道徳の学習の進め方を示すページを設けるとともに、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどが採用されています。 以上、報告とさせていただきます。 </p>
会長 (田鍋教育長)	<p> ありがとうございました。ただ今の報告を受け、御質問などありましたら発言をお願いします。 </p>
委員	<p> (……) </p>
会長 (田鍋教育長)	<p> ございませんか。 </p>
委員	<p> (「ありません」の声) </p>
会長 (田鍋教育長)	<p> ないようですので、委員長さん大変お疲れ様でした。ありがとうございました。 </p>

発言者	内 容
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>委員長さんはお引き取り願いたいと思います。 ここで15分間休憩をとります。委員の皆様は、調査委員長からの報告を受け、選定の協議に向けて御意見等を取りまとめていただくようお願いします。 再開は、1時40分からとします。</p> <p>(休憩)</p> <p>時間になりましたので再開します。各委員からの御意見をお願いします。最初にA市・町から、その後はB市・町、C市・町という順をお願いします。</p>
<p>委員 (A市・町)</p>	<p>各者見せていただいて、一つ一つの教材については、それで優劣をつけることは難しいと思っています。ただ、教育出版の中学校3年生で「カムイモシリとアイヌモシリ」という題材が取り上げられていました。学習指導要領で、社会科においてアイヌが位置付けられ、これから全ての教科書でアイヌの記述が出てくるわけですが、道徳科の教科書の中でアイヌの資料が出ていたのは教育出版の中学校3年生だけでした。これを管内の子どもたち、とりわけ2020年の国立博物館に向けて、アイヌについての理解を促進していくという意味ではよいことであると考えています。それで教育出版を選びました。</p> <p>それから、同じ目線で見たと時に、東京書籍に教材はありませんでしたが、資料で中学校1年生にアイヌの資料が僅かでしたが載っていました。東京書籍も取り上げたい。</p> <p>それから、全体的に見て気になっているのは、道徳科の授業が話し合いを重視している時に、教材が長すぎる感じがしています。中学校50分の授業で教材を読み取るだけで15分から20分位かかるのではないかと思います。残りの時間で子どもたちがどの位考えを出し合っているのか、そうした視点で考えた時に総ページ数が200ページを超えるのはどうかと考えます。一番薄いのが教育出版の中学校2年生で178ページ、一番厚いのが廣あかつきの中学校1年生の238ページで差がある。行数や文字数も関係しますが、200ページを超えるものは文字数が多いと感じました。</p>

発言者	内 容
委員 (A市・町)	<p>教科書のサイズが気にはなりましたが、各学年ともに180ページ台で収まっているので3番目に選んだのが学研です。以上の3者を推薦します。</p>
会長 (田鍋教育長)	<p>ありがとうございました。B市・町お願いします。</p>
委員 (B市・町)	<p>B市・町もねらい、振り返りなど中学生にとって何が必要なかを研究・議論してきました。B市・町としては、東京書籍、光村図書、そして学研を選びました。写真の排列とかデザインとか、中学生が興味をひきやすい教科書を選びました。それと長い文書もあったので、1時間の中で授業をやれるのかという議論もしました。そういった観点から3者を選びました。</p>
会長 (田鍋教育長)	<p>ありがとうございました。C市・町お願いします。</p>
委員 (C市・町)	<p>昨年度の小学校の採択、今年の中学校の採択について、道徳科の一貫性はどうなのかを考えました。昨年の児童向けの道徳科の教科書は、心が動かされる、感動が大きいというものが多かったと思っています。その延長上にあるのかなと思って中学校の教科書を読みましたが、一つ一つの教材が非常にいろいろな方向を考えさせられる教材でありました。安易な判断は難しいと感じました。</p> <p>視点としては、多角的に捉えることができる教材、また発問の内容や数などを中心に各者を検討しました。それと教材や資料の多さの問題、子どもたちが考え意見を交わす中でいろいろなものを吸収していくためには時間的制約がかかってきます。文字の多さが各者共通して気になりました。</p> <p>また、評価についても記述式がよいと考えました。なお、教育出版については、アイヌなど身近な教材を扱っているのが印象に残りました。</p> <p>C市・町としては総合的に判断し、東京書籍、教育出版、光村図書の3者を推薦します。</p>
会長 (田鍋教育長)	<p>ありがとうございました。D市・町お願いします。</p>

発言者	内 容
委員 (D市・町)	<p>学び方の示し方、振り返りとか自己評価がきちんとできているか、視点と内容項目の示し方が分かりやすいどうか、教科書の体裁についても評価の観点としました。</p> <p>その中で、学研と日科を除く6者の1年生の教材を全て読みました。教材の内容と工夫が一番大切と考えますが、教材の長さについては10分以内に読めるかという基準をもって読みました。仮に内容が不足している時、それを補うのは写真とか挿絵などの視覚に訴えるものであると考え、それも重視して読みました。</p> <p>そのような観点で、東京書籍、光村図書、日本文教出版の3者を選びました。また、同じ教材を扱っている数者について、その扱い方についても比較して検討しました。</p>
会長 (田鍋教育長) 委員 (E市・町)	<p>ありがとうございました。E市・町お願いします。</p> <p>内容、工夫、指導上の配慮について検討しました。昨年の小学校の教科書との一貫性についても検討しました。</p> <p>結果としては、光村図書、東京書籍、そして学研と教育出版が並びましたが、地域教材の取り上げもあり、教育出版としました。</p> <p>特に、目次とか巻末の表し方が教える側にとって使いやすく配慮されており、丁寧とか優しさという点で光村図書が3者の中で上であると思いました。</p> <p>年4回シーズンごとに、子どもたちに学習を記録させ、学びの様子を把握しやすいところも配慮されていると思いました。</p> <p>教育出版は高度な部分があると思っています。キャリアのある先生方にはむしろこちらの方がよいと思ったりもしました。</p> <p>光村図書と教育出版は全く反対側にあると思いました。その中間にあるのが東京書籍で、工夫が十分見られました。巻頭には分かりやすく話し合いのイメージがもてる有効な部分があると思いました。以上です。</p>
会長 (田鍋教育長)	<p>ありがとうございました。F市・町お願いします。</p>

発言者	内 容
<p>委員 (F市・町)</p>	<p>調査の観点等に基づいて、各者の検討をしました。結論的には3者に絞り込むこととしました。3者については、光村図書、教育出版、東京書籍です。</p> <p>それぞれの評価ですが、光村図書については学習の進め方が分かりやすいと考えます。また、分量等は各者多いと感じますが、中でも丁度よいと捉えることができます。学びの記録がしっかり残しやすいと思いました。</p> <p>教育出版については、学校の中だけでなく家庭や地域との連携が図りやすい教材、内容になっていると思います。また、学習の後に自分のことを振り返る工夫がされていると思いました。</p> <p>東京書籍につきましては、地域学習を行いやすい構成になっていると思いました。内容・分量もバランスが取れていると思いました。</p> <p>小学校との学びの連続性を考えると、光村図書にメリットがあると感じていますが、教育出版には、第10採択地区で抱えているいろいろな文化資産等への扱いがあり、それらを通じて地域に密着したいろいろなことが考えられると思います。特に、先住民族アイヌの人々のことを学ぶとともに基礎文化となっていく縄文文化からのつながりもアイヌにはあるので、地域の特性を学校・地域・先生方において図ることができると思います。また、そういったことを通して、コミュニティ・スクールの活動の活性化にもつながっていくと考えます。</p> <p>3者甲乙つけ難いが、最終的に教育出版に分があると思いました。以上です。</p>
<p>会長 (田鍋教育長)</p> <p>委員 (F市・町)</p>	<p>ありがとうございました。G市・町お願いします。</p> <p>教育委員、町内校長等からも意見をいただき検討した結果、まず3者を選びました。順番をつけますと、1番目には教育出版、2番目に日本文化出版、3番目に廣あかつきとなっております。考えていくポイントは数点ありますが、まず1つ目は、初めて道徳科が中学校に入ることということで、担任教員の指導のしやすさがどこにあるかという点です。ここが充実していると、教材研究の効率化が図られるであろうと考えました。</p>

発言者	内 容
委員 (F市・町)	<p>それから、ワークシートがしっかりしていると評価の部分で客観的な蓄積ができると考えました。</p> <p>2つ目のポイントは、北海道教材の量と質です。アイヌ民族教材がしっかりと入っているのは大事なことと考えます。</p> <p>3つ目の観点は、子どもたちの振り返りが教科書にだけ書き込むと担任が確かめる時に、教科書を全部集めることとなります。ノートとか振り返りシートとかがしっかりしていると評価の部分で有効に活用できると考えます。</p> <p>次のポイントは、あまりにも教材文が内容の濃いものでありすぎるために、国語のように読み込んでいかなければならないというのは避けなければならないと思います。皆で意見を交換し合う時間が十分取れるような教材が必要と考えます。</p> <p>次のポイントは教科書の重さであります。あまりにも重い教科書は問題があると考えます。教科書の厚さ、重さについては教育委員からも意見が出されていました。</p> <p>その他の意見としては、中学校から現在使っている副読本と同じ教科書会社の方が指導する側も学習する側も扱いやすいと意見が出されていました。</p> <p>ありがとうございました。H市・町お願いします。</p>
会長 (田鍋教育長) 委員 (H市・町)	<p>教育委員会内部で検討してきました。その中で、観点としては、教材のよさを第1に考えています。あとは総ページ数で、比較的文章が長いのが結構ある中で、適度な文書量を観点としました。次は授業の進め方で、発問の取組み方や振り返りです。生徒自身が振り返った時にどんな風に思うか、それを文書で書くか又は記号なり数値で表すかを含め観点と考えました。</p> <p>また、学習指導要領の取扱う4つの内容項目は、自分自身に関すること、人との関わりに関すること、集団や社会との関わりに関すること、生命や自然、崇高なものとの関わりに関することとなっていますが、その中でどこを重視していくのかがあると思っています。</p> <p>光村図書は自分自身に関することが題材として多いです。他の3つに関しては、まず自分自身に関することをしっかり理解してもらうのが必要と考えている意図を感じました。</p>

発言者	内 容
委員 (H市・町)	<p>授業の進め方でも導入がスムーズであったり、「見方を変えて」というのがあり、別の視点で多角的に考えられたりすることから1番目は光村図書と考えました。</p> <p>次が東京書籍で、4つの内容項目のバランスが取れていると考えます。総ページ数もある程度抑えています。教材については、大きな特徴はないかも知れませんがバランスが取れていると考えます。「考えてみよう」で導入をしっかりとしていることから2番目は東京書籍と考えました。</p> <p>3番目は、学校図書を考えました。教材の内容が中学生として追及していく形ができるのでよいと思います。幅広いジャンルから工夫されていると感じました。</p> <p>北海道の教材という点では、教育出版が一番多いと思いますが、学校図書も地域教材があり、「心の扉」が発展教材としてあるなど使いやすいと考え学校図書を3番目としました。</p> <p>ありがとうございました。I市・町お願いします。</p>
会長 (田鍋教育長) 委員 (I市・町)	<p>教材・発問・振り返りやイラスト等が興味関心を高めるものになっているか、多面的に様々なことが考えられるかという観点から検討をしました。</p> <p>第1は光村図書と思っています。1年間の学びの流れがよくできていると考えます。先生・生徒がこの学年、この段階でこの内容の学習が必要と感じる教材が排列されていると思います。</p> <p>イラストや写真などが多く活用されていて、生徒が引き込まれる教材が多いと思いました。有名な作家や各界で活躍している人が失敗や葛藤を乗り越えたり、悩んでいる姿が描かれたりしている教材が多いと思います。</p> <p>2番目には、学校図書を推薦します。生徒の興味関心を高める教材、心を揺さぶる教材、共感する教材が多いと感じました。</p> <p>道徳科の設置の趣旨や教育基本法の理念の実現に向けた配慮が見られました。</p> <p>3番目は教育出版です。魅力的で多様な教材が多く、議論する道徳の授業を展開しやすいと考えました。</p> <p>また、光村図書と教育出版はサイズがB5版なので、机にし</p>

発言者	内 容
委員 (I市・町)	まうとか鞆に入れやすいと考えます。以上です。
会長 (田鍋教育長)	ただ今全ての委員の皆様から意見をいただいたところですが、全体を通して何か発言のある方はいませんか。
委員	(「ありません」の声)
会長 (田鍋教育長)	なければ、皆さんから幅広い観点で御意見をいただいところですが、中学校の「特別の教科 道徳」の教科用図書につきましては、御意見として多かったのは東京書籍、光村図書、教育出版の3者であったと考えます。この3者に絞り込んでよろしいでしょうか。
委員	(「はい」の声)
会長 (田鍋教育長)	それでは、この3者について、委員の皆様御意見を改めて、お伺いしたいと思います。実際の見本本を手にとって意見をまとめる時間とするため、ここで10分程度、休憩としてよろしいでしょうか。
委員	(「はい」の声)
会長 (田鍋教育長)	再開は2時20分からとします。
	(休憩)
	それでは、再開します。3者について意見をお願いします。各市町で選定したい1者について、御意見を出していただき、それをトータル的に勘案する中で、最終的に1者を選定できればと思いますのでよろしくをお願いします。
	それでは、A市・町からお願いします。
委員 (A市・町)	A市・町としては、教育出版を推薦したいと思います。

発言者	内 容
会長 (田鍋教育長)	それでは、B市・町お願いします。
委員 (B市・町)	B市・町は、東京書籍を推薦します。
会長 (田鍋教育長)	それでは、C市・町お願いします。
委員 (C市・町)	C市・町は、光村図書を推薦します。
会長 (田鍋教育長)	それでは、D市・町お願いします。
委員 (D市・町)	D市・町は、光村図書を推薦します。
会長 (田鍋教育長)	それでは、E市・町お願いします
委員 (E市・町)	E市・町は、光村図書を推薦します。
会長 (田鍋教育長)	それでは、F市・町お願いします
委員 (F市・町)	F市・町は、教育出版を推薦します。
会長 (田鍋教育長)	G市・町お願いします。
委員 (G市・町)	G市・町は、教育出版を推薦します。
会長 (田鍋教育長)	H市・町お願いします。
委員 (H市・町)	H市・町は、光村出版を推薦します。
会長 (田鍋教育長)	I市・町お願いします。
委員 (I市・町)	I市・町は、光村出版を推薦します。

発言者	内 容
会長 (田鍋教育長)	そうしますと、トータルで光村出版は5つの市・町、教育出版は3つの市・町、東京書籍は1つの市・町ということですのでよろしいですね。
委員	〔はい〕の声
会長 (田鍋教育長)	皆さんの御意見では、光村図書が一番数字的には多かったのですが、これに対し何か御意見等がございますか。
委員	〔ありません〕の声
会長 (田鍋教育長)	御意見がありませんので、光村図書でよろしいですか。
委員	〔はい〕の声
会長 (田鍋教育長)	光村図書ですが、 ① 問題を解決するための発問「考える観点」を配置し、様々な道德上の問題や課題を多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 ② 教材ごとに記入する「私の気づき」やシーズンごとの記録を残す「学びの記録」を配置したり、自らの道德的成長や新たな目標をもったりすることができるよう工夫されている。 ③ 生徒が家庭での話し合いにつなげられるコラムを配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるように工夫されている。 という理由から、光村図書に決定してよろしいでしょうか。
委員	〔はい〕の声
会長 (田鍋教育長)	全会一致としたいのですが、よろしいでしょうか。
委員	〔はい〕の声

発言者	内 容
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>それでは、全会一致をもちまして、「特別の教科 道徳」につきましては、光村図書になりましたことを確認します。 以上で「特別の教科 道徳」について協議・選定を終了しましたので、一度事務局にお返しいたします。</p>
<p>事務局 (鈴木課長)</p>	<p>それでは、1者選定が終了しましたので、決定した教科用図書を確認いたします。</p>
<p>事務局長 (安藤教育長)</p>	<p>改めて確認をいたします。平成31年度から中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書については、「光村図書出版『きみが いちばん ひかるとき』」でございます。</p>
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>次に、議事(2)の「平成30年度教科用図書展示会における意見等について」事務局からお願いします。</p>
<p>事務局 (鈴木課長)</p>	<p>第10採択地区における各市町で開催の「平成30年度教科用図書展示会」において寄せられた意見等を事務局から報告します。 各市町で開催の展示会で寄せられた意見を集約したところ、7市町で意見等がありましたので、口頭で報告させていただきます。 今回は、道徳科に関する意見等が多く、内容としては、「何者かある教科用図書の中に、政治色や偏った思想の人が書いた教科用図書があると感じた。」「人権・平和・共生の大切さを教える教科用図書を使ってもらいたい。」「特定の価値観の押しつけにならない。」「誘導や型にはめるようなことを避ける。」などといった意見等が寄せられ、全体では28件ありました。 以上、平成30年度教科用図書展示会における意見等について報告します。</p>
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>この件について、何か御質問等ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>(「ありません」の声)</p>

発言者	内 容
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>本日予定していました議事については、以上をもちまして終了いたしました。事務局に進行をお返しします。</p>
<p>事務局 (鈴木課長)</p>	<p>2点事務連絡をします。</p> <p>1点目は、「平成31年度使用小学校用教科用図書及び平成31年度使用中学校用「特別の教科 道徳」教科用図書の採択について」です。</p> <p>議案書に添付しております資料を御覧ください。</p> <p>第10採択地区の各市町教育委員会は、協議会規約第2条第2項及び無償措置に関する法律施行令第14条により、本日選定された中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書及び第1回協議会で選定された小学校用教科用図書を8月31日までに採択していただくこととなります。</p> <p>2点目は、「教科用図書第10採択地区教育委員会協議会議事録等の公表について」です。</p> <p>事務局より「選定結果」「協議会議事録」「調査研究報告書」を掲載した白老町HPの第10採択地区URLを通知しますので、各市町教育委員会は採択結果の公表ホームページに通知されたURLを関連リンクさせて公表してください。資料としてホームページの公表イメージを添付しております。以上です。</p>
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>その他、委員から何かございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>(「ありません」の声)</p>
<p>会長 (田鍋教育長)</p>	<p>以上で、第2回教育委員会協議会を終了いたします。</p>